

尚徳

学校便り「尚徳」9月号

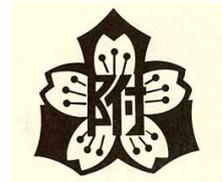
第492号

鳥取大学附属小学校

平成25年9月10日

<http://www.fuzoku.tottori-u.ac.jp/~fusho/>

題字「尚徳」は、住川英明教授（地域学部）



色彩の力

校長 平井 覚

厳しい暑さが続いた夏休みも終わり、小学校の校舎や校庭に児童の元気な姿が戻ってきたと同時に、ほんの少しですが暑さが和らぎ、ほっとしています。

夏休み中の7月21日から24日まで、大韓民国春川教育大学校附設初等学校との姉妹校交流のために、本校児童の親善大使42名の皆さんと引率の先生方とともに私は韓国を訪問しました。3年前に新しく完成したという春川教育大学校附設初等学校の施設は大変に立派で、そこで春川教育大学校附設初等学校の教職員や児童の皆さんのたいへんな歓待を受けました。

両校の多彩な文化交流も素晴らしかったのですが、その交流の中の一つに、両校の児童が描いた絵画作品を交換するという企画がありました。そのときに、本校の児童の描いた作品と春川教育大学校附設初等学校の児童が描いた作品を改めて見比べる機会があり、大変に興味深かった事がありました。

本校の児童の描いた絵画作品はどの作品も緻密に描かれていて、何よりも作品制作の過程を大切にしている児童自身に自由に描かせることが主眼になっていると感じさせる作品でした。使われている色彩も非常に繊細で多彩な色彩がバランスよく使われていて、どの作品も大変にまとまりのよい落ち着いた作品に仕上がっていました。それに対して、春川教育大学校附設初等学校の児童の作品を見て真っ先に目に飛び込んできたのは、非常に強い色彩の効果を使った色使いでした。

色彩は、色の組み合わせによって特定の色でも違った色に見えてしまうということは、よく知られています。たとえば二色の色の組み合わせの場合、特定の「赤」という色でも、隣に鮮やかな緑色が置か

れる場合と彩度の無い灰色が置かれる場合とでは、元々の「赤」という色が明らかに違って見えてしまうのです。同じ「赤」という色なのに同じ色に見えなくなってしまうのです。このような色彩の組み合わせの中でも、お互いの色をそれぞれ強め合う効果がある配色に「色彩の対比」という効果が有ります。

「色彩の対比」には明度対比、彩度対比、色相対比などのいくつかの種類があります。例えば鮮やかな黄色と鮮やかな青色を組み合わせると、暖色系（暖かく感じる色）の色と寒色系（寒く感じる色）の色とが組み合わせられる場合は「寒暖対比」という効果が発生して、黄色はより黄色らしく見え、青色はより青色らしく見える効果が発生します。寒暖対比は絵画の分野では最もドラマチックな色彩の効果をもたらす配色であるといわれています。春川教育大学校附設初等学校の児童の作品にはこの寒暖対比をはじめとした「色彩の対比」の効果が実に多く使われていて、どの作品も色彩がハッキリとしていて鮮やかに見えたのです。文化交流会のときに春川の児童が着ていた韓国の民族衣装の配色にも色彩の対比効果が多く使われていて、ここにもこの傾向が見て取れました。それに対して、日本は島国であるせいか、強い色彩の組み合わせの効果よりも、非常に繊細で多彩な色彩がバランスよく配色されるのが好まれるからではないかと推察しました。日本の着物にも強い色彩の対比効果は使われていますが、全体を見ると強さよりも、全体の調和が何よりも重視されている印象をもちます。

文化の基礎部分の違いが、両校の児童の作品にも表現されていたことにたいへんに興味をもち、いっそう両校の文化交流に意義を見いだした姉妹校交流でした。

【ふるさと音楽祭】



7月14日（日）、鳥取市民会館で行われたふるさと音楽祭に、本校を代表して3年生が出演しました。ふるさと音楽祭は、鳥取市出身の作曲家「岡野貞一」

と作詞家「田村虎三」、大阪音楽大学の創始者「永井幸次」の業績をたたえとともに、ふるさと鳥取を誇ろうという目的で、昭和62年10月に始められました。地元出身の音楽家や著名なゲストが出演します。

3年生は、「春の小川」と「帰り道」の2曲を披露しました。音楽の時間に、透き通ったきれいな水がさらさらと流れる小川の様子を、しずむ夕日を見ながら、きみに出会えた奇跡に感動する様子を表現できるよう話し合い、練習を重ね、歌声を作ってきました。子どもたちの透き

通った歌声をたくさんの方に聴いていただき、子どもたちも大きな自信がもてたと思います。

保護者の方々も大勢おいでくださり、子どもたちの歌声を聞いていただきました。子どもたちの励みになったと思います。

今後もしろいろな機会を生かしながら、音楽の学習が深められたらと考えています。

9月30日に「本物の舞台芸術」を予定しています。これは文化庁主催の舞台芸術に触れるというものです。邦舞を全校で鑑賞します。子どもたちがどんな感想をもつのか楽しみです。

